

令和6年度(2024年度) 年間授業計画表											
学年	3	コース	総合進学 特進 特進選抜	選択形態		文系選択		科目	政治・経済	単位	3
学習目標	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したこととの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。										
使用教科書	政治・経済 (数研出版)		副教材				予定時間数	105			
単元と内容											
1学期	第1章 現代の政治 第3節 日本の政治機構 第4節 政治参加と民主政治の課題			3 裁判所のしくみと人権保障 4 地方自治のしくみと住民生活 1 戦後政治と政党 2 選挙制度のしくみ 3 世論と情報化社会							
	第2章 現代の経済 第1節 経済活動の意義と経済体制 第2節 現代経済のしくみ			1 資本主義経済の発展と変容 2 経済活動の主体 1 市場経済のしくみ 2 国民所得と経済成長 3 金融のしくみと働き 4 財政のしくみと租税							
2学期	第3節 日本経済と福祉の向上 第1節 国際政治の動向 第2節 国際経済の動向 第3節 国際社会の課題と日本の役割			1 戦後日本経済のあゆみ 2 中小企業と農業・食料 3 公害防止と環境保全 4 消費者問題と消費者保護 5 労使関係と労働市場 6 少子高齢社会と社会保障 1 国際社会と国際法 2 国際社会の組織化 3 戦後国際政治の展開 1 貿易と国際収支 2 国際経済のしくみ 3 地域主義の動き 1 核兵器の廃絶と軍縮問題 2 地域紛争と人種・民族問題 3 地球環境と資源・エネルギー問題 4 発展途上国の経済と経済協力 5 日本の国際的地位と役割							
3学期											
評価											
評価の観点			評価の趣旨				評価対象				
							1学期末	2学期末	学年末		
①	知識・技能		選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。				○	○	○		

②	思考力・判断力・表現力	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。	○	○	○
③	主体的に学びに向かう態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めている。	○	○	○
評価方法	①		②		③
	定期考査 75 % レポート 25 %	定期考査 50 % レポート 20 %	レポート 50 %		

令和6年度(2024年度) 年間授業計画表

学年	3	コース	総合進学	選択形態	全員	科目	日本史探究	単位	3
学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。								
使用教科書	日本史探究(東京書籍)	副教材	資料集・他				予定時間数	105	
単元と内容									
1学期	第3編 近世の日本と世界			第1章 近世社会の形成 1 地球的世界の形成と日本 2 織豊政権による全国統一 3 桃山文化 第2章 歴史資料と近世の展望 1 参勤交代と幕藩体制 2 百姓たちの生活世界 3 江戸時代の対外関係 第3章 近世社会の展開 1節 幕藩体制の確立 1 江戸幕府と大名・朝廷 2 近世の身分と人々の暮らし 3 アジアのなかの幕藩体制 4 武断政治から文治政治へ 5 幕藩体制下の社会の発展 2節 近世社会の成熟と幕藩体制の動揺 1 享保の改革と経済の発展 2 近世社会の成熟と危機の始まり 3 幕藩体制の立て直し 4 幕藩体制の動揺					
2学期	第4編 近現代の地域・日本と世界			第1章 近代社会の幕開け 1 開国と開港 2 幕府の崩壊と明治維新 第2章 歴史資料と近現代の展望 1 資本主義の発展と生活 2 国民国家と政治参加 3 世界のなかの近現代日本 第3章 近現代社会の展開 1節 近代的制度の導入と新しい国際関係 1 制度改革と殖産興業政策 2 文明開化と教育制度の整備 3 東アジア世界のなかの明治政府 4 政府専制への批判 2節 国民国家と資本主義の成立 1 立憲政治の成立 2 対外関係の変容と日清戦争 3 産業革命と資本主義の定着 4 教育制度の整備と新しい文化 5 日露戦争と帝国日本 6 日露戦争後の社会と政治 3節 両大戦間期の日本 1 都市化・重工業化と生活の変化 2 政党政治とデモクラシー 3 国際社会のなかの日本 4節 第二次世界大戦と日本 1 昭和恐慌と立憲政治の動揺 2 中国侵略と戦時体制への移行 3 戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開 5節 占領と改革 1 占領と日本国憲法の成立 2 冷戦の開始と経済復興 6節 国際社会への復帰と高度経済成長 1 国際社会への復帰と対米協調 2 高度経済成長 7節 アジア情勢の変化と経済大国日本 1 1970年代の国際社会と日本 2 安定成長への転換					

		8節 新しい国際秩序と日本の課題 1 激変する世界と日本 2 21世紀の日本 第4章 現代の日本の課題の探究 1 社会や集団と個人 2 世界のなかの日本 3 伝統や文化の継承と創造			
3学期					
評価					
評価の観点		評価の趣旨	評価対象		
			1学期末	2学期末	学年末
①	知識・技能	教科書に登場する重要語句をインプットし、適切な場面でアウトプットできる。	○	○	○
②	思考力・判断力・表現力	知識を関連付けて、文化・制度・事件・事象などを自分なりに解釈して説明できる。また、習得した知識と理解した概念を関連付けて、自分の考えを表現することが出来る。	○	○	○
③	主体的に学びに向かう態度	教科書や資料集などを駆使しながらインプットし、理解しようと努力し協力することが出来る。	○	○	○
評価方法	①		②		③
	定期考査 75 % レポート 25 %	定期考査 50 % レポート 20 % 各種発表・まとめ 30 %	レポート 50 % 各種発表・まとめ 50 %		